

校舎1階ホール壁画を作成

日本画家 橋本 豊治 氏 (高校3期)



1999年刊行
甲州街道七十二景

プロフィール

1933年 2月生まれ
1951年 立川高校卒業後東京藝術大学入学
16年間 中学、高校で教鞭をとる
八王子市において制作活動に専念 現在に至る
前日展会友 現在無所属



主な作品

- ・八王子市庁舎レリーフ(12×3.5m)
- ・永林寺格天井画(210枚)
- ・高尾山、八王子百景
- ・甲州街道七十二景
- ・京都南禅寺創建南院国師絵伝(35枚)
- ・港区増上寺観智国師絵巻(63枚)
- ・東海市細井平洲記念館
細井平洲(上杉鷹山の師)絵巻(48枚)



南禅寺創建南院国師絵伝

■壁画ができるまで

校舎1階ホールに入るとすぐ左手に、大きな銅板の壁画がある。1990年(平成2年)末に、3代目校舎竣工に伴って、作成された。

1989年の1月発注、5月頃から取材、各部の部員をモデルにしたスケッチをすすめた。明治34年府立武中時代の学生の服装、戦時中の洋服を調べ、歴史をひもとき、さらに江戸時代の立川の様子も調べた。

7、8月までに下図を作り、9月に粘土付け、12月に成型、翌2月にアルミ合金を流し込んで完成し、平成2年3月27日に飾りつけた。



■壁画に込めた思い

壁画には、校歌にうたわれている多摩川や大岳山を背景に、生徒の生き生きとしたクラブ活動を通して、その若い躍動の美しさを画面いっぱいに表示したいと思った。

立高生は歴史とともに気質も変化し、特に昭和25年ころから女生徒が入学しはじめ、校内の雰囲気も一変した。

そのような自身の立高時代を思い出しながら、作成に燃えた。



立高讃画
橋本豊治